

CHIBA BANK 2008

ミニ・ディスクロージャー誌
平成21年3月期 営業の中間ご報告

たいせつにします、ひと、みず、みどり。



当行は、千葉県に根差した金融機関として、さまざまな地域貢献活動を実施しています。

「たいせつにします、ひと、みず、みどり。」

「ひと」＝福祉・教育活動、「みず」＝水質保全活動、
「みどり」＝緑化活動、の3分野に重点を置いて取り組んでまいります。

- ① 福祉・教育活動 … 障害者自立支援法の施行、少子高齢化の進展などを背景として、今後ますます重要性が高まる障がい者・高齢者福祉関連、教育関連の貢献活動に積極的に取り組んでまいります。
- ② 水質保全活動 … 印旛沼、九十九里浜など、千葉県を取り巻く水資源の保全に取り組んでまいります。
- ③ 緑化活動 … 「ちばぎんの森」における育樹活動などに継続して取り組んでまいります。

千葉銀行のプロフィール

平成20年9月30日現在

| | |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 創立 | 昭和18年3月 |
| 拠点 | 国内171店舗 (本支店148、特別出張所5、出張所16、仮想店舗2) 店舗外現金自動設備27,333か所 (うちコンビニATM「E-net」8,858か所、 コンビニATM「ローソンATM」5,690か所、 セブン銀行との提携による共同ATM12,525か所) 両替出張所3か所 海外：3店舗(ニューヨーク、香港、ロンドン) 1駐在員事務所(上海) |
| 従業員数 | 4,146人 |
| 総資産 | 9兆9,772億円 |
| 預金 | 8兆4,653億円 |
| 貸出金 | 6兆8,782億円 |
| 資本金 | 1,450億円 |
| 発行済株式数 | 895,521千株 |
| 自己資本比率 | 単体10.74% 連結11.31% |

※諸計数は原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しています。

目次

| | |
|-------------|----|
| 頭取メッセージ | 2 |
| 地域のみなさまとともに | 5 |
| 損益の状況 | |
| 預金・貸出金等の状況 | |
| 資産健全化への対応 | |
| トピックス | |
| 財務諸表(連結) | 9 |
| 財務諸表(単体) | 11 |
| 株式の状況 | 13 |
| ちばぎんネットワーク | 14 |



取締役頭取 竹山 正

ちばぎんは高い支持を受ける
「地域の総合金融サービスグループ」
の確立に向け努力を続けています。

中期経営計画「地域とともに歩む 信頼と成長の100週間」について

当行は、平成19・20年度の2年間を計画期間とする中期経営計画「地域とともに歩む 信頼と成長の100週間」のもと、経営指針である「高い支持を受ける『地域の総合金融サービスグループ』の確立」に向け、「経営管理態勢の強化」、「営業基盤の拡充」および「地域社会発展への貢献」を経営課題として掲げ、コンプライアンスを全ての業務の基本に置いたうえで、諸施策に積極的に取り組んでいます。

当行は常にお客さまの視点に立つことを基本とし、「お客さまのお近くで」、「お客さまのために考え」、「お客さまと共に歩む」姿勢を堅持することで、皆さまからの信頼・支持を高めていきたいと考えています。

平成20年9月期の決算の状況について

わが国の景気は、米国のサブプライムローン問題の影響などから、拡大局面から後退局面に移行し、当行が主要な地盤とする千葉県経済においても同様の動きがみられます。そのような厳しい経済環境ではありますが、当行は常にお客さまのお近くで、地域に密着した活動を実施してまいりました。その結果、平成20年9月期

の個人預金残高や企業向け貸出金・住宅ローン残高は引き続き増加を続けており、預貸金等から得られる資金利益などで構成される銀行の基礎的な利益を示すコア業務純益は、前年同期比32億円増加し454億円となりました。

しかしながら損失の発生している外国債券の一部を売却したほか、減損処理を実施したこと、景気後退に伴う企業業績の悪化により信用コストが増加したことなどから、業務純益（一般貸倒引当金繰入前）は前年同期比73億円減少し326億円、経常利益は前年同期比272億円減少し111億円、中間純利益は前年同期比199億円減少し73億円となりました。

経営の効率性を示すOHRは47.41%と中期経営計画で掲げる50%未満の目標を達成しています。また、金融機関の健全性を示す自己資本比率は、ちばぎん単体で10.74%、ちばぎんグループ連結で11.31%と、当行のように海外に拠点を持つ銀行がクリアすべき国際統一基準である8%を上回る十分な水準を確保しました。

なお、中間配当金につきましては、安定配当の考え方を維持しつつ配当金額の継続的な増加に努めるという基本方針のもと、前年同期比1円増配し、1株あたり6円50銭といたしました。

お客さまとの接点を拡大するなど、お客さまがご利用しやすい店舗作りを進めています。

当行は、千葉県内や隣接都県に積極的に店舗の新設を進めています。千葉県内では、平成20年7月に鎌取支店内に「ちはら台支店」を新設し、平成21年3月の市原市ちはら台地区への移転オープンに備えました。また、平成20年11月には東京都江東区に設置した「東陽町法人営業所」を「深川支店」として昇格させ、今後は法人のお客さまだけでなく個人のお客さまに対しても幅広いサービスを提供してまいります。このほか、幕張支店や錦糸町支店についても建替えを進め、平成21年には新たな店舗として生まれ変わる予定です。

また、お客さまに「じっくり」「ゆっくり」ご相談いただけるよう平成20年10月には真砂支店内に「ちばぎんコンサルティングラウンジ真砂」をオープンし、お客さまのプライバシーに最大限配慮した個室相談ブースで、専任のマネープランナーがお客さまへの最適な資産運用提案に努めています。

さらに、ATMでの連携では横浜銀行、東京都民銀行、常陽銀行、関東つくば銀行、武蔵野銀行との間で、ATM他行利用手数料の無料化を実施しています。これにより、お客さまが無料でご利用いただけるATMは、新たに1,300拠点以上増加いたしました。

今後も、お客さまの利便性を高めるため、拠点の新設やATM網の整備などに積極的に取り組んでまいります。

総合金融サービスグループの実現に向け、商品・サービスの充実に努めています。

平成19年12月の規制緩和により全面解禁されました保険商品の取扱い商品の拡大に対応し、

全営業店の窓口で平成20年4月から「医療保険」「がん保険」を、7月から「自動車保険」の取扱いを開始しました。これにより、預金・保険・投資信託・債券などの幅広い金融商品をワンストップで、お客さまに提供できるようになりました。今後もお客さまの幅広いニーズにお応えするため、新たな業務に積極的に取り組んでまいります。

また、当行に預金・投資信託などを1,000万円以上お預けいただいている個人のお客さまを対象に、会員組織「ちばぎん夢倶楽部」を創設し、会員の皆さまに「資産運用のご相談」等に関する各種金融サービスに加え、お客さまの興味・関心の高い「健康・医療に関する相談」「旅行・宿泊の優待」等のサービスを提供しています。

さらに、ローン商品では、他の地方銀行との連携を進めました。当行及び横浜銀行を幹事行として、地方銀行56行が参加した「地銀住宅ローン共同研究会」を立ちあげ、参加行が共同で女性のお客さま向け専用ローン「ロング・エスコート」の取扱いを開始しました。また、住宅ローンをご利用いただいているお客さまにマイカーローン等の金利優遇サービスや各種優待サービスを提供する「ハッピーエブリデー」の取扱いも開始しました。

一方、お客さまの大切なご預金をお守りするため、偽造・盗難キャッシュカード対策として取り組んでまいりましたICおよび生体認証対応キャッシュカードは、平成20年6月に店内・店外全てのATMでご利用できるようになりました。また、大きな社会問題となっております振り込み詐欺への対策として、お客さま相談窓口を設置しましたほか、国内金融機関初の試みとしてATMコーナーでの携帯電話の利用制限に向けた取組みも検討を進めています。



ちばぎんは、地域貢献活動に積極的に 取り組んでいます。

当行は、「たいせつにします、ひと、みず、みどり。」をキャッチフレーズに、さまざまな地域貢献活動を実施しています。「ひと」を大切にす
る活動では、平成20年1月から「ちばぎんハートフルプロジェクト」を展開し、ご高齢のお客
さまやお身体の不自由なお客さまに当行を安心してご利用いただけるよう全店の店舗設備の
バリアフリー化や、全てのATMに音声ガイダンス機能を備えた受話器を取り付けています。また、「おもてなしの心」と「介護技術」の習得を
目的とした「サービス介助士」の資格を奨励し、
現在200名を超える従業員が取得しています。

環境問題への対応としては、「本店ビル」や「おゆみ野センター（システム拠点）」を中心に
CO₂削減に取り組んでいますほか、以前から実施
していた役職員のクールビズを今年から全営業
店に拡大しました。さらに、お客さまがCO₂削減に貢献できる商品として、個人のお客さま向
け定期預金「地球温暖化防止定期預金（カーボ
ンオフセット定期預金）『地球号』」を、法人のお
客さま向け私募債「ちばぎんカーボンオフセッ
ト私募債『風のちから』」をご用意し、環境に関
心の高いお客さまのニーズにお応えしています。

ちばぎんは「地域の総合金融サービスグル ープの確立」に向け努力を続けてまいります。

当行は、千葉県のトップバンクとして、地域企
業の育成や新たな産業の創出、企業再生など
地域密着型金融に向けた取組みを進めるとと
もに、地域への安定的な資金供給に努めてい
ます。このような取組みを進めることで、将来の
当行グループのありたい姿として掲げた「みな
さまとともに持続的な成長」を実現していきたく
と考えています。

あわせまして、お客さま、株主、地域社会な
ど当行を取り巻く全てのみなさまから、高い信
頼・支持を得られますよう、コンプライアンス態
勢の強化をはじめ高度な内部管理態勢を構築
いたしますとともに、皆さまに当行の経営内容
についてご理解いただけますよう積極的な情
報開示を進め透明性の高い経営を目指してま
いります。

さらに、当行は中央証券、ちばぎんリース、
ちばぎん総合研究所、ちばぎんコンピューター
サービス等のグループ会社と連携してグルー
プの総合力を高め、多様化するお客さまのニー
ズに積極的にお応えしていきます。

本冊子により、みなさまの当行に対するご理
解をさらに深めていただき、一層のご支援・ご
愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年12月

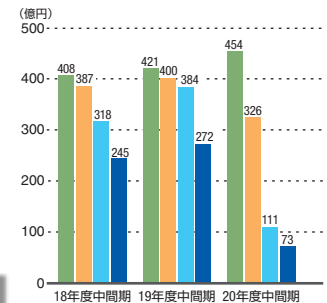
取締役頭取

竹山 正

損益の状況

預金・貸出金残高が堅調に推移し資金利益が増加を続けましたことから、銀行の基礎的な利益を示すコア業務純益は前年同期比32億円増加し、454億円となりました。一方、欧米金融機関の破綻等に伴う外国債券の売却損の計上等により、業務純益（一般貸倒引当金繰入前）は前年同期比73億円減少し、326億円となりました。また、不良債権処理等に係る信用コストが前年同期比223億円増加したことなどから、経常利益は111億円、中間純利益は73億円となりました。

損益の状況



用語解説

コア業務純益とは

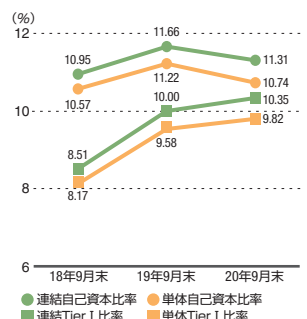
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）から債券関係損益を控除したもので、銀行の基礎的な利益を示す指標です。

業務純益（一般貸倒引当金繰入前）とは

業務純益（一般貸倒引当金繰入前）とは、預金・貸出金など銀行の基本的な業務の成果を示す銀行固有の利益指標です。これは、預金・貸出金などの収支を示す「資金利益」、各種手数料収支を示す「役務取引等利益」、市場業務取引等の損益を示す「特定取引利益」、債券や外国為替の売買損益を示す「その他業務利益」の4つを合計した「業務粗利益」から、臨時経費を除く「経費」を控除したものです。

なお、この業務純益（一般貸倒引当金繰入前）およびコア業務純益は、損益計算書の中には記載されません。

自己資本比率・Tier I 比率



自己資本比率

当行の自己資本比率は、ちばぎん単体で10.74%、ちばぎんグループ連結では11.31%となり、海外に拠点（ニューヨーク、香港、ロンドン）を持つ銀行に求められる国際統一基準8%以上を充たす十分な水準にあります。また、Tier I 比率は単体で9.82%、連結では10.35%となりました。

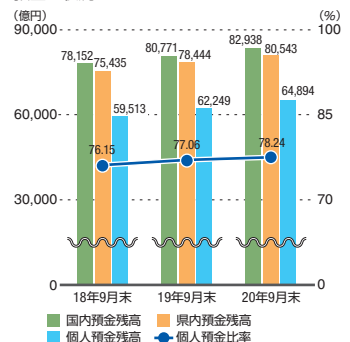
預金・貸出金等の状況

預金の状況

預金につきましては、給与振込・年金受取口座数の増加や、退職者の方を主な対象とした定期預金などの取扱いにより、個人預金残高は前年同期比2,644億円増加し、6兆4,894億円となりました。

また、お客さまの大切なご預金をお守りするため、店内・店外の全てのATMでICおよび生体認証対応キャッシュカードの取扱いが可能となりました。さらに、振り込め詐欺への対策として、お客さま相談窓口を設置しています。

預金の状況

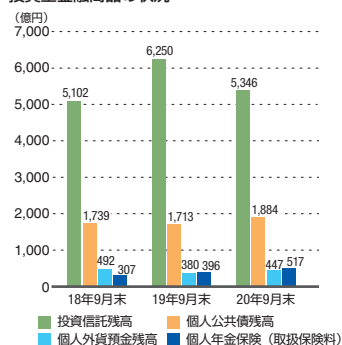


投資型金融商品の状況

多様化するお客さまの資産運用ニーズにお応えするため、条件付で元本確保機能を付加した投資信託及び個人年金保険に新たな商品を追加しました。株式市況が低迷したことなどから、投資信託残高は前年同期比904億円減少し、5,346億円となりましたが、お客さまのライフサイクルにあわせた提案を行いましたことから、個人年金保険の取扱保険料は、前年同期比120億円増加し、517億円となっています。

また、「ATM外貨預金振替サービス」に外貨定期預金のお預入れなどの機能を追加し、利便性の向上に努めました。

投資型金融商品の状況

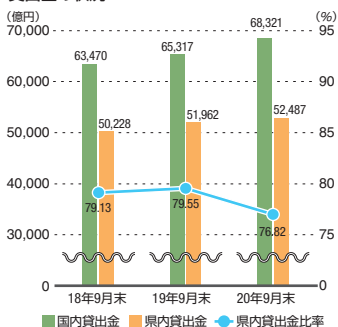


貸出金の状況

地域のお客さまの資金調達ニーズに積極的にお応えしました結果、中小企業向け貸出金や住宅ローンが堅調に推移し、千葉県内向けの貸出金は前年同期比524億円増加し、5兆2,487億円となりました。

お取引先企業の業績向上に向け、新たな販売先の拡大等を目指し、中国の上海市において「第2回日本食品展示商談会in上海」を開催するなど、ビジネスマッチングに積極的に取り組みました。

貸出金の状況

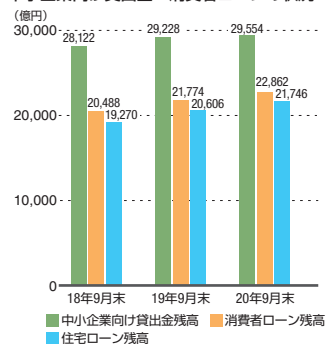


中小企業向け貸出金・消費者ローンの状況

つくばエクスプレス沿線での開発の進展や、個人のお客さまのライフサイクルにあわせた提案を強化しました結果、住宅ローン残高は前年同期比1,139億円増加し、2兆1,746億円となりました。

また、住宅ローンでは、地方銀行56行が参加する「地銀住宅ローン共同研究会」において開発した女性のお客さま向け専用ローンや、住宅ローンご利用者向けの各種優遇サービスの取扱いを開始し、お客さまサービスの充実に努めています。

中小企業向け貸出金・消費者ローンの状況



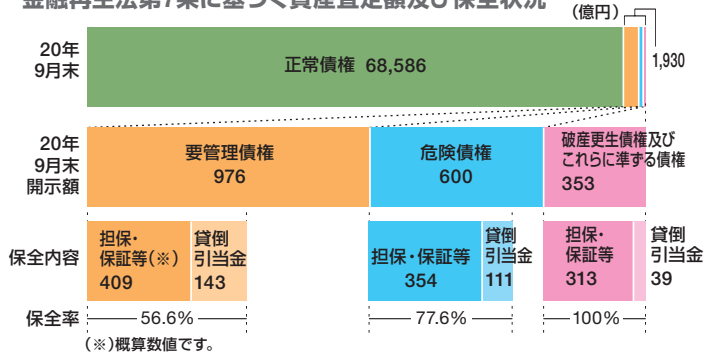
※中小企業には個人事業主も含めております。



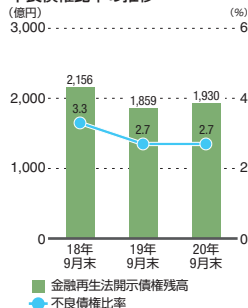
資産健全化への対応

平成20年9月末時点の金融再生法開示債権は、米国のサブプライムローン問題を背景とした不動産市況の悪化などを要因として、前年同期比70億円増加し、1,930億円となりました。当行は、現状は厳しい状況にあるものの、再生可能なお取引先企業に対しては、十分な引き当てにより資産の健全性を確保したうえで、お客さまに身近な営業店が、お客さまに最適なアドバイスや外部支援機関との連携を進めています。

金融再生法第7条に基づく資産査定額及び保全状況



不良債権比率の推移



用語解説

要管理債権

「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」を除く3カ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権です。

危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。

破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

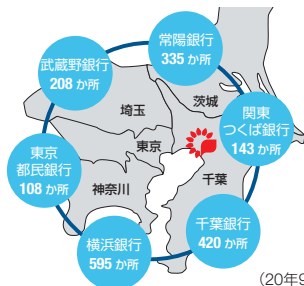
より便利にご利用いただくために

ATMネットワークの拡充

お客さまに「より多くの拠点で」便利に、当行キャッシュカードをご利用いただけますよう、ATMネットワークの拡充に努めています。

近隣地方銀行との提携

当行のキャッシュカードによる現金の引き出し等が、他行利用手数料無料でご利用いただけます。



コンビニエンスストア等との提携

日本全国さまざまな場所でご利用いただけます。



トピックス

「ちばぎん夢倶楽部」の創設について

平成20年9月より、一定のお取引をいただいている個人のお客さまを対象として年会費無料かつ申込手続き不要の会員組織「ちばぎん夢倶楽部」を創設しました。

「ちばぎん夢倶楽部」の会員の皆さまに対しては、「資産運用」に関連する金融サービスに加え、お客さまの興味・関心の高い「健康・医療」「旅行・宿泊」および「地域貢献」等に関連する各種サービスを提供しています。



銀行保険窓販「全面解禁」への対応について

平成19年12月の銀行保険窓販「全面解禁」に対応し、平成20年1月には「定期保険」「終身保険」を、4月には「医療保険」「がん保険」の販売を開始しています。また、7月には「自動車保険」の媒介販売を新たにラインナップに加えています。

これら規制緩和への積極的対応により、当行において提供する金融商品の幅は一段と広がっています。

地域貢献活動

当行では、「たいせつにします、ひと、みず、みどり。」をキャッチフレーズに、さまざまな地域貢献活動を実施しています。

あわせて、環境省が推進する地球温暖化防止運動「チーム・マイナス6%」に参加し、CO₂の削減に力を入れています。

環境配慮型商品の取扱い

お客さまが当行の商品・サービスをご利用いただきながら、環境保全に貢献していただけるよう、環境配慮型商品の取扱いを行っています。

カーボンオフセット商品(排出権付商品)として、平成20年6月には「ちばぎんカーボンオフセット私募債『風のちから』」を、7月には「地球温暖化防止定期預金『地球号』」を取扱っています。これらの商品は当行がお客さまに代わって排出権を購入し、それを日本政府に無償譲渡することで、お客さまが間接的に京都議定書におけるわが国のCO₂の削減目標に寄与していただける仕組みになっています。

クールビズの取組み

平成20年6月から9月にかけて、以前から実施していた役職員の「クールビズ」を、お客さまとの面談時も含めて全営業店に拡大しました。冷房の温度を高め設定し、ノーネクタイの軽装で業務に取り組むことで、エネルギー使用量の削減をはかり、地球温暖化防止に努めました。



中間連結貸借対照表 (単位:百万円)

| 科目 | (平成19年9月30日現在) | (平成20年9月30日現在) |
|---------------|------------------|-------------------|
| | 平成19年9月末 | 平成20年9月末 |
| (資産の部) | | |
| 現金預け金 | 365,627 | 367,958 |
| コールローン及び買入手形 | 25,771 | 16,078 |
| 債券貸借取引支払保証金 | 32,034 | 13,520 |
| 買入金銭債権 | 66,910 | 60,019 |
| 特定取引資産 | 240,929 | 316,429 |
| 金銭の信託 | 30,601 | 28,826 |
| 有価証券 | 2,263,990 | 2,057,443 |
| 貸出金 | 6,530,341 | 6,844,783 |
| 外国為替 | 3,484 | 3,228 |
| その他資産 | 63,060 | 112,315 |
| 有形固定資産 | 134,744 | 95,946 |
| 無形固定資産 | 9,588 | 7,809 |
| 繰延税金資産 | 28,278 | 67,207 |
| 支払承諾見返 | 82,964 | 112,174 |
| 貸倒引当金 | △52,702 | △60,254 |
| 資産の部合計 | 9,825,626 | 10,043,489 |

| 科目 | (平成19年9月30日現在) | (平成20年9月30日現在) |
|--------------------|------------------|-------------------|
| | 平成19年9月末 | 平成20年9月末 |
| (負債の部) | | |
| 預金 | 8,292,618 | 8,439,502 |
| 譲渡性預金 | 98,200 | 120,527 |
| コールマネー及び売渡手形 | 73,156 | 267,153 |
| 売現先勘定 | 26,974 | 99,824 |
| 債券貸借取引受入担保金 | 186,499 | 146,739 |
| 特定取引負債 | 27,868 | 14,682 |
| 借入金 | 282,575 | 99,362 |
| 外国為替 | 465 | 753 |
| 社債 | 21,000 | 41,000 |
| その他負債 | 94,451 | 100,588 |
| 退職給付引当金 | 18,942 | 18,700 |
| 役員退職慰労引当金 | 1,601 | 1,293 |
| 睡眠預金払戻引当金 | 501 | 790 |
| ポイント引当金 | 673 | 762 |
| 特別法上の引当金 | 215 | 35 |
| 繰延税金負債 | 139 | 1 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 15,325 | 15,323 |
| 支払承諾 | 82,964 | 112,174 |
| 負債の部合計 | 9,224,176 | 9,479,217 |
| (純資産の部) | | |
| 資本金 | 145,069 | 145,069 |
| 資本剰余金 | 123,401 | 123,399 |
| 利益剰余金 | 270,426 | 286,307 |
| 自己株式 | △1,174 | △1,243 |
| 株主資本合計 | 537,722 | 553,532 |
| その他有価証券評価差額金 | 41,442 | △10,531 |
| 繰延ヘッジ損益 | 2,059 | 961 |
| 土地再評価差額金 | 7,781 | 7,777 |
| 為替換算調整勘定 | 2 | △5 |
| 評価・換算差額等合計 | 51,284 | △1,798 |
| 少数株主持分 | 12,442 | 12,537 |
| 純資産の部合計 | 601,449 | 564,271 |
| 負債及び純資産の部合計 | 9,825,626 | 10,043,489 |

中間連結損益計算書 (単位:百万円)

| 科目 | (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで) | (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで) |
|--------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| | 平成19年9月期 | 平成20年9月期 |
| 経常収益 | 136,000 | 132,008 |
| 資金運用収益 | 93,395 | 93,020 |
| （うち貸出金利息） | (70,607) | (74,218) |
| （うち有価証券利息配当金） | (21,227) | (16,749) |
| 信託報酬 | 6 | 3 |
| 役員取引等収益 | 22,749 | 21,337 |
| 特定取引収益 | 1,872 | 1,856 |
| その他業務収益 | 1,901 | 2,270 |
| その他経常収益 | 16,075 | 13,520 |
| 経常費用 | 92,381 | 119,819 |
| 資金調達費用 | 23,692 | 19,397 |
| （うち預金利息） | (15,902) | (13,936) |
| 役員取引等費用 | 6,907 | 7,181 |
| 特定取引費用 | 27 | — |
| その他業務費用 | 2,701 | 13,426 |
| 営業経費 | 43,138 | 44,106 |
| その他経常費用 | 15,913 | 35,707 |
| 経常利益 | 43,619 | 12,189 |
| 特別利益 | 6,859 | 2,581 |
| 固定資産処分益 | — | 223 |
| 償却債権取立益 | — | 2,176 |
| 金融商品取引責任準備金取崩額 | — | 180 |
| 特別損失 | 2,549 | 309 |
| 固定資産処分損 | — | 309 |
| 税金等調整前中間純利益 | 47,930 | 14,460 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 17,286 | 12,074 |
| 法人税等調整額 | 2,295 | △5,545 |
| 少数株主利益 | 436 | 289 |
| 中間純利益 | 27,911 | 7,640 |

【平成20年9月期注記】

- 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
- 貸出金のうち、破綻先債権額は7,733百万円、延滞債権額は87,743百万円、3ヶ月以上延滞債権額は5,318百万円、貸出条件緩和債権額は92,424百万円、並びにその合計額は193,218百万円
- 銀行法施行規則第17条の5第1項第3号口に規定する連結自己資本比率(国際統一基準) 11.31%
- 有形固定資産の減価償却累計額 90,870百万円
- 1株当たり純資産額 617円27銭
- 担保に供している資産として特定取引資産、有価証券、貸出金合計額 941,527百万円
- 1株当たり中間純利益 8円54銭

中間貸借対照表 (単位:百万円)

| 科 目 | (平成19年9月30日現在) | (平成20年9月30日現在) |
|---------------|------------------|------------------|
| | 平成19年9月末 | 平成20年9月末 |
| (資産の部) | | |
| 現金預け金 | 364,735 | 367,559 |
| コーロローン | 25,771 | 10,578 |
| 債券貸借取引支払保証金 | 32,034 | 13,520 |
| 買入金銭債権 | 56,943 | 50,678 |
| 特定取引資産 | 240,477 | 316,180 |
| 金銭の信託 | 27,500 | 26,215 |
| 有価証券 | 2,258,343 | 2,057,346 |
| 貸出金 | 6,557,658 | 6,878,200 |
| 外国為替 | 3,484 | 3,228 |
| その他資産 | 55,544 | 63,220 |
| 有形固定資産 | 89,296 | 90,049 |
| 無形固定資産 | 7,532 | 7,609 |
| 繰延税金資産 | 23,010 | 60,897 |
| 支払承諾見返 | 78,829 | 81,665 |
| 貸倒引当金 | △43,445 | △49,737 |
| 資産の部合計 | 9,777,718 | 9,977,214 |

| 科 目 | (平成19年9月30日現在) | (平成20年9月30日現在) |
|--------------------|------------------|------------------|
| | 平成19年9月末 | 平成20年9月末 |
| (負債の部) | | |
| 預金 | 8,311,053 | 8,465,323 |
| 譲渡性預金 | 98,200 | 120,527 |
| コールマネー | 73,156 | 267,153 |
| 売現先勘定 | 26,974 | 99,824 |
| 債券貸借取引受入担保金 | 186,499 | 146,739 |
| 特定取引負債 | 27,868 | 14,682 |
| 借入金 | 283,002 | 99,694 |
| 外国為替 | 465 | 753 |
| 社債 | 20,000 | 40,000 |
| その他負債 | 64,360 | 71,704 |
| 未払法人税等 | — | 10,833 |
| その他の負債 | — | 60,871 |
| 退職給付引当金 | 18,570 | 18,289 |
| 役員退職慰労引当金 | 1,324 | 1,091 |
| 睡眠預金払戻引当金 | 501 | 790 |
| ポイント引当金 | 385 | 469 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 15,325 | 15,323 |
| 支払承諾 | 78,829 | 81,665 |
| 負債の部合計 | 9,206,519 | 9,444,033 |
| (純資産の部) | | |
| 資本金 | 145,069 | 145,069 |
| 資本剰余金 | 122,148 | 122,146 |
| 資本準備金 | 122,134 | 122,134 |
| その他資本剰余金 | 13 | 12 |
| 利益剰余金 | 254,321 | 269,247 |
| 利益準備金 | 50,930 | 50,930 |
| その他利益剰余金 | 203,391 | 218,316 |
| 別途積立金 | 169,971 | 202,971 |
| 繰越利益剰余金 | 33,420 | 15,345 |
| 自己株式 | △1,174 | △1,243 |
| 株主資本合計 | 520,364 | 535,218 |
| その他有価証券評価差額金 | 40,994 | △10,776 |
| 繰延ヘッジ損益 | 2,059 | 961 |
| 土地再評価差額金 | 7,781 | 7,777 |
| 評価・換算差額等合計 | 50,834 | △2,037 |
| 純資産の部合計 | 571,198 | 533,181 |
| 負債及び純資産の部合計 | 9,777,718 | 9,977,214 |

中間損益計算書 (単位:百万円)

| 科目 | (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで) | (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで) |
|-----------------|-------------------------------|-------------------------------|
| | 平成19年9月期 | 平成20年9月期 |
| 経常収益 | 119,855 | 117,793 |
| 資金運用収益 | 92,501 | 92,845 |
| (うち貸出金利息) | (69,855) | (73,647) |
| (うち有価証券利息配当金) | (21,252) | (17,240) |
| 信託報酬 | 6 | 3 |
| 役員取引等収益 | 17,836 | 17,274 |
| 特定取引収益 | 1,554 | 1,687 |
| その他業務収益 | 1,898 | 2,270 |
| その他経常収益 | 6,058 | 3,711 |
| 経常費用 | 81,448 | 106,685 |
| 資金調達費用 | 23,680 | 19,415 |
| (うち預金利息) | (15,930) | (13,986) |
| 役員取引等費用 | 7,824 | 8,233 |
| 特定取引費用 | 27 | — |
| その他業務費用 | 2,701 | 13,426 |
| 営業経費 | 40,245 | 41,329 |
| その他経常費用 | 6,968 | 24,280 |
| 経常利益 | 38,406 | 11,108 |
| 特別利益 | 9,199 | 2,156 |
| 特別損失 | 2,328 | 222 |
| 税引前中間純利益 | 45,277 | 13,041 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 15,901 | 10,830 |
| 法人税等調整額 | 2,105 | △5,135 |
| 中間純利益 | 27,270 | 7,346 |

【平成20年9月期注記】

- 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
- 貸出金のうち、破綻先債権額は8,022百万円、延滞債権額は85,955百万円、3か月以上延滞債権額は5,318百万円、貸出条件緩和債権額は92,318百万円、並びにその合計額は191,614百万円
- 銀行法施行規則第19条の2第1項第3号ロ(10)に規定する単体自己資本比率(国際統一基準) 10.74%
- 有形固定資産の減価償却累計額 86,839百万円
- 担保に供している資産として特定取引資産、有価証券、貸出金合計額 940,689百万円
- 1株当たり中間純利益 8円21銭

株式の所有者別状況

平成20年9月30日現在

| | 株主数 (人) | 所有株式数 (単元) | 割合 (%) | |
|---------|------------|---------------|-----------|-------|
| 政府及び地公体 | 2 | 9 | 0.00 | |
| 金融機関 | 123 | 412,524 | 46.35 | |
| 証券会社 | 51 | 13,347 | 1.50 | |
| その他の法人 | 1,453 | 131,816 | 14.81 | |
| 外国法人等 | 個人以外 | 442 | 215,837 | 24.25 |
| | 個人 | 1 | 1 | 0.00 |
| 個人その他 | 24,895 | 116,553 | 13.09 | |
| 計 | 26,967 | 890,087 | 100.00 | |

(注) 1. 1単元の株式数は1,000株です。なお、上記のほか、単元未満株式は5,434,087株となっております。

2. 自己株式1,699,676株は「個人その他」に1,699単元、単元未満株式に676株含まれております。なお、自己株式1,699,676株は株主名簿上の株式数であり、期末日現在の実質的な所有株式数は1,698,676株です。

3. 「その他の法人」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が3単元含まれております。

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会

毎年6月

基準日

定時株主総会の議決権： 毎年3月31日

期末配当： 毎年3月31日

中間配当： 毎年9月30日

公告方法

電子公告

(当行ホームページ)

<http://www.chibabank.co.jp/>)

ただし、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

大株主上位10社

平成20年9月30日現在

| | 所有株式数 (千株) | 発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%) |
|-----------------------------------------|---------------|--------------------------------|
| 日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口) | 54,041 | 6.03 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 44,158 | 4.93 |
| 日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口) | 41,852 | 4.67 |
| 日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口4G) | 31,166 | 3.48 |
| 日本興亜損害保険株式会社 | 29,905 | 3.33 |
| 日本生命保険相互会社 | 29,177 | 3.25 |
| 第一生命保険相互会社 | 25,678 | 2.86 |
| 住友生命保険相互会社 | 17,842 | 1.99 |
| 明治安田生命保険相互会社 | 15,579 | 1.73 |
| ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505225 | 11,982 | 1.33 |

(注) 1. 所有株式数は千株未満を切り捨てております。

2. 発行済株式総数に対する所有株式数の割合は小数点第3位以下を切り捨てております。

株主優待制度

・対象株主

毎年3月31日の最終の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された1,000株(1単元)以上保有の株主

・株主優待制度の内容

千葉県の特産品等を集めましたオリジナルカタログ(毎年6月送付予定)から、保有株数に応じて、お好みの商品をお選びいただけます。

| | | |
|------|-----------------------|----------------------|
| 保有株数 | 1,000株以上 10,000株未満 | 10,000株以上 |
| 優待商品 | 千葉県の特産品等 3,000円相当 | 千葉県の特産品等 6,000円相当 |

株式事務取扱場所

・株主名簿管理人・事務取扱場所(お問い合わせ先)

〒103-8202

東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号

日本証券代行株式会社 本店

住所変更等用紙のご請求 ☎0120-707-842

その他のご照会 ☎0120-707-843

株式会社 千葉銀行

〒260-8720 千葉市中央区千葉港1-2

TEL.043-245-1111 (代表)

<http://www.chibabank.co.jp/>

平成20年12月発行

ちばぎんはチーム・マイナス6%に参加しています。

みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%



この印刷物は、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構により色覚の個人差を問わず、多くの方に見やすく配慮されたデザイン(カラーユニバーサルデザイン)として認定されました。



大豆油インキで印刷しています



FSC 認定林産品を使用した
製品の取扱いについては
www.fsc.org Cert no. S65-COC-004603
© 1996 Forest Stewardship Council